



アニメ声優科

アニメ声優科 2年

川上 真樹さん

(社会人を経験後入学)

[目指す職業]

声優/俳優

司会・ナレーター

[目指す資格]

ビジネス著作権検定/コミュニケーション検定
サービス接遇検定 3級

[目指すオーディション]

校内オーディション(年間10社以上)
一般公募オーディション
声優アワード新人発掘オーディション(3月)

冊子では得られない、現場での納得感。

Q 本人の進路希望を聞いたとき、どう感じましたか？

(母) 恵子さん: 娘は一度社会人になってからふたたび進学を志しました。高校生のころに「声優の勉強をしたい、専門学校に進みたい」と相談があったとき、「自分の将来のことは自分でしっかり考えて選びなさい」とだけ言いました。一度社会を経験してから進学するという道は娘自身が考えたことです。親として信じて見守ろう、応援しようとしてずっと決めていました。

Q A&Dへの進学を決めたのはいつごろですか？

真樹さん: 社会人として働いていたときにA&Dに進学を決めた後輩がいて、アニメ声優科の存在を知ったんです。東京への進学も考えたことはありましたが、オープンキャンパスで授業の様子を体験して「ここならしっかり学べる」と思い進学を決めました。両親に話したのは入学する前年の夏ごろで、「決めたことを信じる、自分の好きなようにしなさい」と言ってもらえました。

Q 親子でオープンキャンパスに参加して、印象はいかがでしたか？

(母) 恵子さん: 私自身はオープンキャンパスに参加しませんでした。娘が度々参加して納得した状態で進学を決めたようです。

真樹さん: オープンキャンパスではアニメのアフレコ、オーディション用の写真撮影やボイスサンプルの録音などを体験できました。体験の楽しさはもちろんですが、授業内容を具体的に知ることができたのもよかったです。A&Dでは業界で活躍するプロの先生方がそれぞれの専門科目を教えていて、複数の先生方のいろいろな視点からアドバイスをもらえます。そうした環境が整っていることを知ることができたのもオープンキャンパスからこそだと思います。

矢田部先生: オープンキャンパスが決め手になったようで嬉しいです。普通の授業の楽しい部分を凝縮させた、自慢の体験メニューなんです。表現することの楽しさや奥深さを知ることができると思います。

Q A&Dでの学びで「よかった」と感じることは？

(母) 恵子さん: 出会う先生方や仲間から受ける影響で自分自身を成長させていくことが大切だと思っています。娘の個性ややる気を引き出して成長に結び付けてくれる環境に出会えたのだと思うと、とてもよかったと感じます。

真樹さん: 自分の演技に対して多くの先生方から意見をもらえること、業界の情報をいただくことができるのが嬉しいです。

Q 今後の進路や目標についてお聞かせください。

真樹さん: 卒業後は事務所に所属して、前線で活躍したいです。

矢田部先生: アニメ声優科のエース的存在である真樹さん。その熱意とストイックさで、今後も演技の引き出しをどんどん増やしてほしいですね。

(母) 恵子さん: 自分の先にある道にはたくさん可能性のあることを忘れずに。あなたの決めたことを応援しています。

オープン
キャンパスは
本人の決意を
後押ししたようです。



母: 川上 恵子 さん

多くの先生から
学べるという
環境に
惹かれました。



学生: 川上 真樹 さん

表現することの
楽しさを
実感しに来て
ほしいですね。



担任: 矢田部 翔子 先生